



穂肥指導会

佐渡米品質向上のため、7月10日から穂肥指導会を島内92ヶ所の会場で開催しました。

参加者は合計で880名、指導会の重点は、「必ず生育診断を実施して的確な穂肥施用」と、「1回目の穂肥は7月19日をめやすに生育診断の結果をふまえ慎重に判断」、「2回目の穂肥は7月27日をめやすに後期栄養確保のためにしっかりと散布」の3点で、周知徹底しました。



生育情報 → 穂肥指導会の様子

7月30日現在、コシヒカリの生育状況は、草丈(90cm)、茎数(409本/m²)、全体的に生育は平年並みとなっています。5月連休中に田植えをした圃場の出穂期は8月8日頃の予定です。

7月29日コープにいがたの夏休み子供「生きもの調査とトキの森公園見学」ツアーが開催されました。詳細は別紙で。



「こども探検隊 2014」

7月27日、佐渡地域振興局主催で、親子30名で佐渡の小倉ダムを見学しました。佐渡の将来を担う子どもたちに、田んぼの水がどこから来て、どのように使われているのかを学ぶために企画されたものでした。

ダムとても楽しかった、階段がすごかったよ。



「新鮮空間 よらんか舎」オープン

佐渡の農業と地域の発展のため、とれたて新鮮な野菜などを地域の皆様にお届けしたいという思いから直売活動を始めて10数年経ち、この度JA佐渡組合員の悲願の農産物直売所「新鮮空間 よらんか舎」(金井地区)が8月2日にAコープ併設でオープンしました。オープン初日にはAコープ・よらんか舎合わせて3200人の来店があり、スイカやトキ色メロン・ネクタリン等、地元の旬の野菜と果物を手にとる姿が多く見受けられました。来店者からは「家で野菜を作っているが、珍しい野菜や果物があったのでまた買いに来たいと思う」という声が聞かれました。



佐渡金銀山を世界遺産に

佐渡金山は1610年(慶長6年)に発見され、平成元年に閉鉱するまで388年間採掘され続け、かつては日本最大の金銀山でした。金山の開発によって、日本全国の人々が佐渡に渡り、人口5万人の大きな鉱山都市「相川」が誕生し、各地からの宗教・芸能・習俗が島内に持ち込まれました。

鉱山都市の遺構はいまも各地に残されていて、鉱山の坑道は、全部つなぎ合わせるとほぼ400キロになります。いちばん深い箇所が650メートルの高任坑で、かつて排水ポンプがない時代は、坑内の地下水を汲み上げる重労働「水替」を、幕府が罪のない多くの無宿者(ホームレス)を佐渡へおくり、人足として働かせたとされています。故郷へ帰ることもなく、静かに亡くなった後は皆「無宿人」のお墓に埋葬されたそうです。佐渡金山は数百年にも渡って採掘を続け、その間には数えきれない悲しみの物語があったと言われていますが、金山の歴史が江戸幕府の財政を支えたと同時に、佐渡島の農業発展や今も引き継がれている伝統芸能・文化の根本となったことも事実です。

参考資料 磯部欣三「佐渡歴史散歩」



金山の宋太夫坑



道遊割戸



無宿人のお墓

編集人：佐渡農業協同組合 営農事業部米穀販売課 渡部・買(まい)

beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp

発行日：平成26年8月

夏休み子供企画「生きもの調査とトキの森公園見学」ツアー



みなさんようこそ!JA 佐渡
常務による出迎いのあいさつ



営農指導員による生きもの
の調査の説明



生き物調査開始



JA 職員と一緒に米粉の水餃子
を作りました、皮作りの説明



見てください、僕たちもと
れましたよ



すごいね!見て、とれたよ!



みんな真剣に餃子包みに集中し
ています



皮作って面白いね!見て、まる
くなったよ



これは何? むか登です、
ご飯を炊くんだよ



夏休みのいい思い出、いっば
いできました。ありがとう!ま
た、来てくださいね!



自分で作ったおにぎり特別に
美味しいです



水餃子

ごちそういっぱいだね!
手作り水餃子美味しかった